

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		8/17~8/24	8/24~8/31	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.13	0.12
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.040	0.034
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.045	0.028
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.17	0.17
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.029	0.027
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.031	0.050
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.024	0.027
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.027	0.029

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)		
		8/17~8/24	8/24~8/31	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.019	不検出
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.020	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

●渡邊正己京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

測定結果に特別に配慮すべき数値は見られず、健康への影響を心配する必要はありません。

原子力は科学活動で得られた最も輝かしい成果とあって過言ではありませんが、私たちは原子力への恐怖に悩まされており、それは、人類が原子力を完全にコントロールすることができないことの表れでもあります。一方、人は宇宙万物の原子(陽子・中性子・電子)でつくりされており、また、人が運動したり、呼吸をしたりなど様々な生命活動にも、この原子力エネルギーが使われているのです。

私たちが原子力の危険を回避するためには、原子力の本当の姿を科学的に理解する努力を忘れてはなりません。